

“六角川流域水害対策計画”を策定しました。

計画策定の経緯

令和元年佐賀豪雨
令和3年8月豪雨

六角川水系流域治水協議会等において議論

R5.3.28:六角川を特定都市河川に指定

R5.6.13:第1回六角川流域水害対策協議会

★流域水害対策計画の基本方針の確認

- ・地区代表者等との意見交換
- ・重点整備地区、対策方針の調整

R6.2.19:第2回六角川流域水害対策協議会

★重点整備地区の設定について確認

★まちづくり・治水対策の方向性を確認

★**流域水害対策計画(案)公表**

- ・地区代表者等との意見交換
- まちづくりと治水に関する議論
- ・重点整備地区における対策メニューの検討
- ・対策による効果量の整理

R7.1.9:第3回六角川流域水害対策協議会

★流域水害対策計画(素案)の確認

R7.1.21:流域水害対策計画(素案)公表

- ・パブリックコメント(1.21~2.21)
- ・重点整備地区における代表者等への説明会
- ・関係部局協議
- ・学識者意見照会

R7.3.24:第4回六角川流域水害対策協議会

★**流域水害対策計画(案)公表**

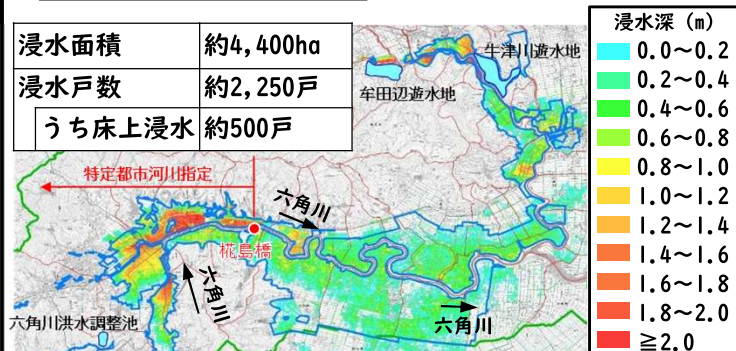
R7.3.28:流域水害対策計画 策定

六角川流域水害対策計画とは？

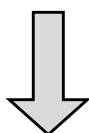
特定都市河川浸水被害対策法の改正で新たに創設された様々な制度を活用することで、これまでの六角川流域における水災害対策をさらに進め、流域治水を計画的、効果的かつ早期に進めることができるよう、河川管理者・下水道管理者及び流域自治体など、流域のあらゆる関係者が協働して行う総合的な浸水被害対策を定め、**令和3年8月と同規模の雨に対して床上浸水解消を図る**ものです。

- ・六角川では、**R3.8豪雨等により武雄市など沿川地域で甚大な浸水被害が発生。**
- ・六角川は低平地を緩流する蛇行河川であり、有明海による最大約6mの干満差の潮位変動を受けるため洪水時の排水が困難。
- ・現行の河川対策を進めても、**流域全体で床上浸水が約500戸残る。**

浸水面積	約4,400ha
浸水戸数	約2,250戸
うち床上浸水	約500戸



▲現行の河川対策実施後の浸水深(対象降雨:R3.8)



河川管理者による河道等の整備のみでは早期の浸水被害解消が困難であり**流域一体となった対策が必要**

特定都市河川指定による「流域治水」の推進



▲特定都市河川流域図

雨水流出増加の抑制や貯留・浸透機能の向上、水害リスクを踏まえた住まい方の工夫等、従来の河川対策に加え、まちづくりと治水が調和する「流域治水」への転換を図ります。

流域水害対策計画のポイント

計画の目標や事業期間は？

内水氾濫*による被害が甚大であった、令和3年8月降雨を対象に、事業期間概ね20年で床上浸水被害の解消を図ることを目標とした計画です。

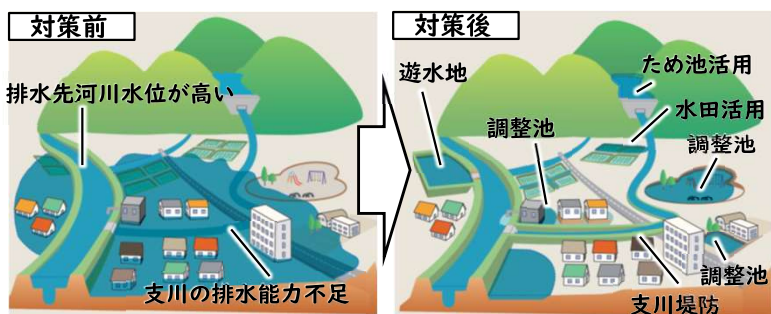
*内水氾濫とは？

流域に降った雨水が河川に排水できずに、支川や水路などから溢れ、宅地などが浸水すること

どうやって浸水被害を防ぐの？

■浸水発生の原因

- ① 六角川、武雄川の水位が高いことによる
内水の排水不良
- ② 支川流域の排水能力の不足



浸水被害対策のイメージ

■浸水被害を防ぐ方法

- ① 六角川、武雄川の水位を低減
→ 六角川洪水調整池、遊水地整備
- ② 支川に流れ込む水の量を抑制
→ 支川流域における遊水地・調整池整備
及びため池・水田等の活用
- ③ 支川の排水能力を向上
→ 支川の堤防整備、河道拡幅 など

床上浸水リスクが特に高い武雄市の橘地区・朝日地区・北方地区を重点整備地区とし、生業とコミュニティの維持に配慮しながら、まちづくりと一体となった河川整備や流域対策を推進します。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策 (ハザードへの対策)

◆河川整備 ※下線は河川整備計画変更を想定した新たな整備メニュー

- ・ 六角川洪水調整池整備 (六角川(武雄市))
- ・ 遊水地整備 (武雄川、甘久川、馬神川(いずれも武雄市))
- ・ 堤防整備 (高橋川、中野川、焼米入江(いずれも武雄市))
- ・ 河道拡幅 (武雄川、甘久川、川添川、馬神川(いずれも武雄市)) 等

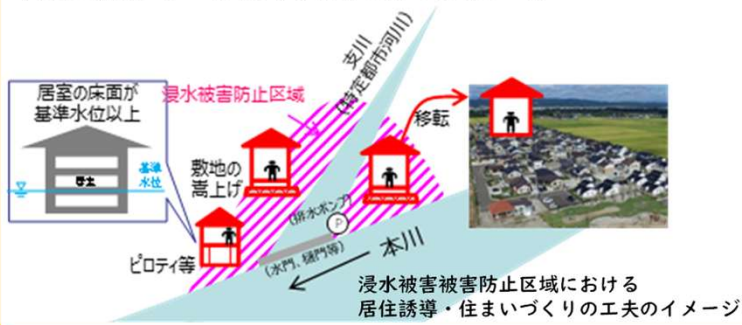
◆流域対策

- ・ 雨水貯留浸透施設整備
- ・ ため池及び利水ダムの活用
- ・ 水田貯留 等



② 被害対象を減少させるための対策 (暴露への対応)

- ◆浸水被害防止区域の指定の検討
- ◆貯留機能保全区域の指定の検討
- ◆家屋高上げ・移転等居住対策の支援 等



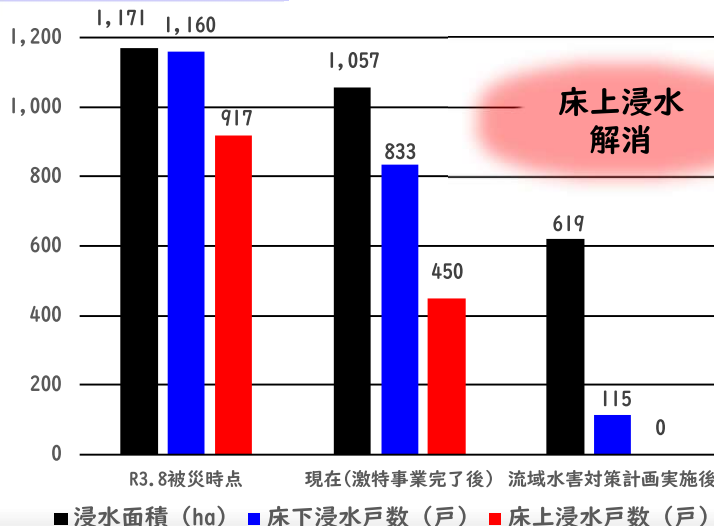
③ 被害の軽減、早期復旧、復興の ための対策 (脆弱性への対応)

- ◆内水監視カメラ、浸水センサー等の設置
- ◆防災教育や防災知識の普及に関する取組
- ◆水災害リスク情報の充実
- ◆防災アプリによるリアルタイム情報の提供 等



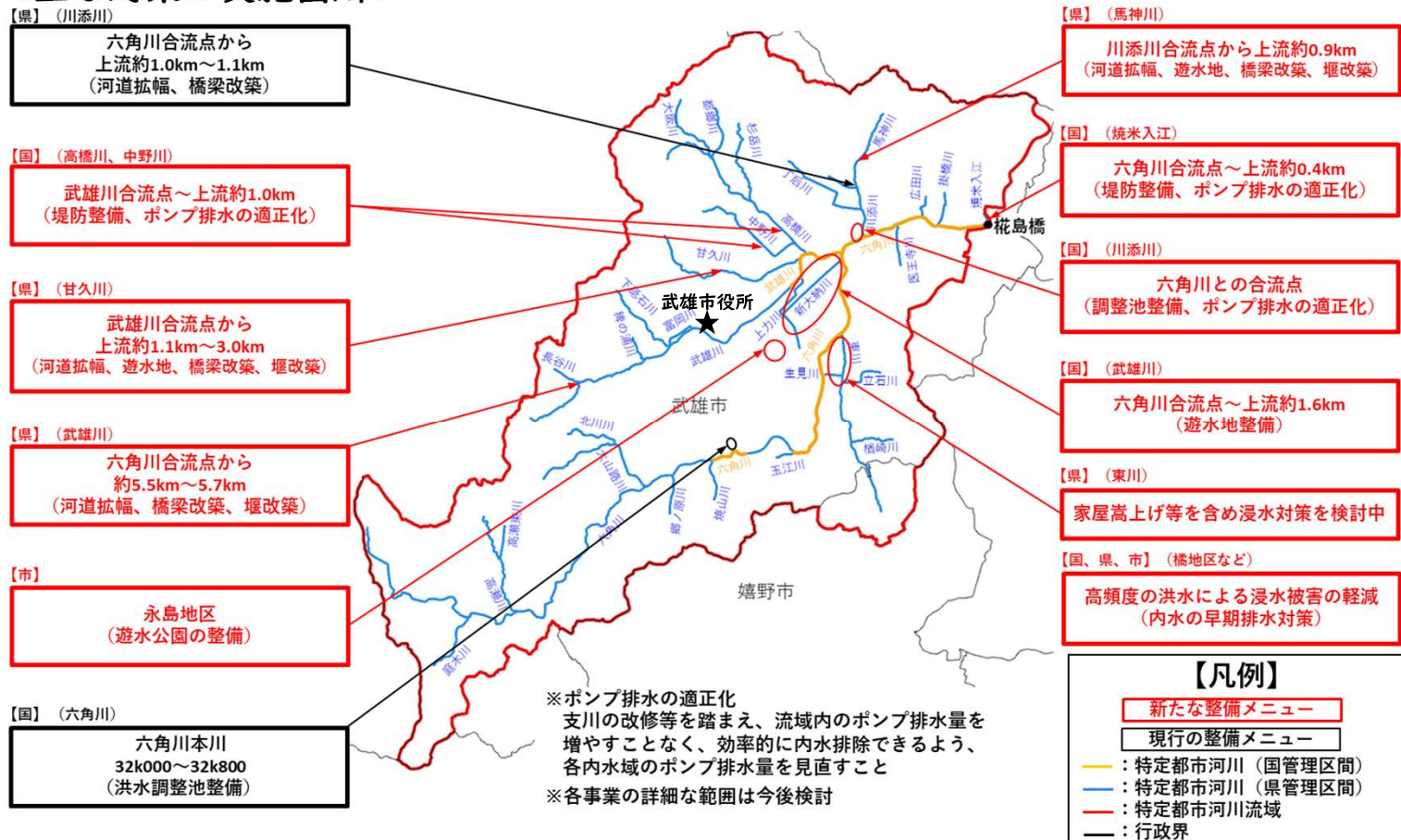
防災アプリによるリアルタイム情報の提供 シンポジウムによる防災意識の啓発

対策実施の効果



流域水害対策計画における主な対策

<主な対策の実施箇所>



<各対策のロードマップ>

【流域水害対策計画に位置づけているハード対策等（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）】

対策内容	目的・効果	実施主体	短期	中期	長期
六角川洪水調整池の整備 (六角川)	六角川の水位低減による氾濫リスク低減及び東川流域等の内水の自然排水機能の強化による浸水被害の軽減	国交省			
遊水地の整備 (武雄川)	六角川の水位低減による氾濫リスク低減及び武雄川合流点より下流の内水の自然排水機能の強化による浸水被害の軽減	国交省			
堤防整備 (高橋川、中野川)	高橋川、中野川流域の洪水を平地で溢れさせず武雄川に排水することによる浸水被害の軽減	国交省		一期整備	二期整備
調整池整備 (北方地区)	川添川排水機場の排水効率向上による浸水被害の軽減	国交省			
堤防整備 (焼米入江)	焼米入江流域の洪水を平地で溢れさせず六角川に排水することによる浸水被害の軽減	国交省			
支川改修 (武雄川)	河道拡幅や橋梁改築等を行い河川からの氾濫による浸水被害を軽減	佐賀県			
支川改修 (甘久川)	河道拡幅や堰改築等を行い河川からの氾濫による浸水被害を軽減	佐賀県			
支川改修 (川添川)	河道拡幅や橋梁改築等を行い河川からの氾濫による浸水被害を軽減	佐賀県			
支川改修 (馬神川)	河道拡幅や橋梁改築等を行い河川からの氾濫による浸水被害を軽減	佐賀県			
内水の早期排水対策 (橋地区など)	高頻度の洪水による浸水被害の軽減	国交省 佐賀県 武雄市			
ポンプ排水の適正化	支川改修等を踏まえたポンプの再配置等による流域全体での浸水被害の軽減	国交省			
河川管理施設の適切な 維持管理	河道の維持、排水機場等施設の確実な稼働による施設機能の維持	国交省 佐賀県			
下水道の整備及び維持管理	下水道区域内の雨水排水能力の維持	武雄市			
遊水公園の整備 (永島地区)	貯留機能向上による永島地区内の浸水被害軽減	武雄市			
水路等の改修	地区内排水効率化による浸水被害軽減	武雄市			
校庭貯留等公共用地への 雨水貯留浸透施設整備	貯留機能向上による浸水被害軽減	武雄市			
利水ダム及びため池の活用	貯留機能向上による浸水被害軽減	武雄市			
水田貯留	貯留機能向上による浸水被害軽減	武雄市 嬉野市			

※東川は家屋高上げ等を含め浸水対策を検討中

地域住民の皆様との意見交換・説明会の実施

■特定都市河川流域の中でも特に浸水リスクが高い武雄市の橘地区・朝日地区・北方地区を重点整備地区として、「治水とまちづくり」をテーマに、地区毎に計9回の意見交換を実施し、将来のまちづくりを見据えて検討しました。

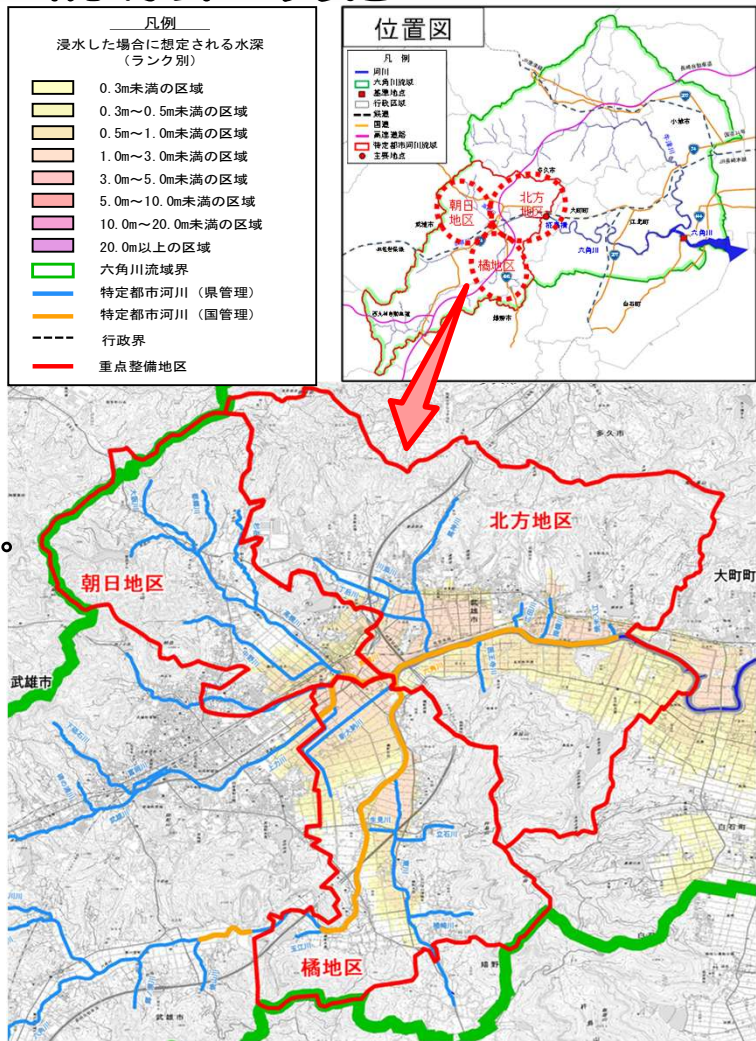
■令和7年1月21日に「六角川流域水害対策計画（素案）」を公表した後、パブリックコメントを通じて地域の皆様から広くご意見をいただきました。

■令和7年1月26日には「防災フェスタ・治水シンポジウム in 武雄」を開催し、各機関が取り組む対策の内容等について、わかりやすく説明を行いました。

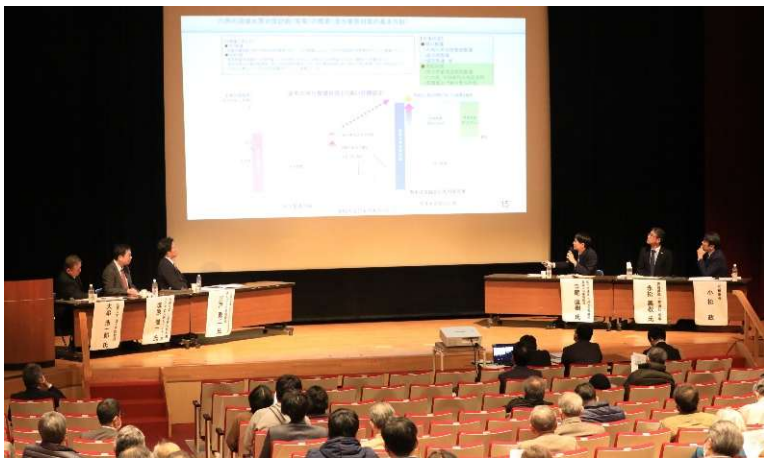
■また重点整備地区である橘地区・朝日地区・北方地区において、地区毎に素案の内容について説明会を行い、住民の皆様から素案に対するご意見をいただきました。

■地域の皆様からのご意見、六角川流域水害対策協議会等における議論を踏まえて、令和7年3月28日に「六角川流域水害対策計画」を公表しました。

■今後も地域住民の方々との意見交換を継続的に実施し、「治水とまちづくりが連携する対策」を進めていきます。



▲重点整備地区（橘地区・朝日地区・北方地区）



▲防災フェスタ・治水シンポジウム in 武雄



▲六角川流域水害対策協議会



▲橘地区における説明会



▲朝日地区における説明会



▲北方地区における説明会



六角川流域水害対策計画
の詳細はこちら >>>



武雄河川事務所HP



佐賀県HP



武雄市HP



嬉野市HP



治水シンポジウム